



コロナ禍克服に全力を挙げ、 新潟地域経済に元気を取り戻す！

会頭 福田 勝之

明けましておめでとうございます。令和4年の新春を迎え、謹んでお喜び申し上げます。皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと存じます。新年にあたり、新潟経済がコロナ禍から回復することを願うとともに、更なる発展を後押しするため中小企業並びに小規模事業者の経営支援と地域振興に努めてまいりたいと決意を新たにしております。

コロナの感染自体が急激に改善しているものの、経済はコロナ禍前の状況に一気に回復するには至っておりません。大規模な宴会を行える店をはじめ多くの飲食店では新しい生活様式の継続により客足が以前の水準には戻っておらず、厳しい経営が続いています。また、ガソリンや食料品をはじめとする原材料価格の高騰、半導体や木材等の品薄の影響が各方面に及んでおり、中小企業の経営を取り巻く環境の先行きは不透明な状況にあります。

そのような中、経済復活に向けた対策を盛り込んだ国の補正予算が成立し「事業復活支援金」をはじめとする施策が今後一気に展開されます。当所では、事業者の皆様方にそれらの詳細情報をいち早くお伝えするとともに、具体的な申請などの支援を行ってまいります。

また、「ウイズコロナ」、「2050年カーボンニュートラルの実現」、「DXの推進」など社会経済情勢が急激に変化してきています。これらの変化に対応して事業の再構築を図ろうとする方々には、活用できる補助金等の情報提供をはじめ専門家派遣制度も強化してまいります。

「SDGs」の取組に対する社会的要請が近年急速に高まってきています。SDGsへの取組は若者の就職先の選択要因としての比重が大きくなってきていることから、企業と行政が協力して地域を

挙げて取り組むことで「若者に選ばれる新潟」につながると考えております。当所が昨年実施したアンケートでは、「SDGsに取り組むたいが、検討に至っていない」との回答率が高かったことを受けて中小企業・小規模事業者でも簡単に取り組める事例などの情報提供等を積極的に行ってまいります。ぜひ新しいことに挑戦しましょう。

海外販路の開拓を目指す企業に対する支援としては、コロナの影響を考慮し、アジアを中心とした国々とのオンライン商談会や越境ECサイトを活用したテストマーケティング事業等を展開してまいります。

観光面においては、佐渡島の金山の世界遺産本登録に向けた機運醸成を図りつつ、当面、国内からの誘客促進を優先してまいります。幸い、今年夏にはトキエアの就航が予定されています。新潟空港の利便性向上に寄与することはもとより、新しい航空路を活用して交流人口の拡大に結び付くよう、積極的な支援活動を展開してまいります。その際、新潟市の貴重な観光資源である古町芸妓や料亭をはじめとする「みなとまち文化」の魅力発信に力を入れていきます。

意見・要望活動の影響力の源泉となる会員数については、コロナ禍に起因する様々な相談業務を通じて商工会議所の存在意義に対する認識が高まり、全国的に会員数が増加傾向となっております。当所の会員数も昨年末で4,631社となりました。4000強の会員数からスタートした5000会員を目指すパワーアップ5000推進運動に本年も引き続きご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様方のご健勝と事業の更なるご発展を祈念し、新年のご挨拶といたします。

新春のごあいさつ



新潟県知事 花角 英世

令和4年の年頭にあたり、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

貴会議所におかれましては、日頃から中小・小規模企業の皆様方の経営基盤強化にご尽力いただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大により、多くの方が我慢を強いられた一年となりました。改めて、感染された皆様に心からお見舞い申し上げます。

県といたしましては、今後の感染拡大の可能性に備え、医療提供体制の更なる強化やワクチン接種の円滑化に取り組みます。

さて、昨年から新型コロナウイルスが流行し、感染防止対策と社会経済活動の維持・回復が当面の最大の

課題となりましたが、そのような中であってもポストコロナ社会を見据え、将来の本県の成長・発展に向けた中長期的な取組を進めていかなければなりません。

感染拡大を契機とする人や企業の地方分散の流れを踏まえた「分散型社会の実現」に向けた取組として、働く場、起業・創業の場、そして人々が訪れる場として新潟を「選ばれる地」にしていくため、これまでも増して官民、関係者が連携して県内企業や地域の魅力を高め、これらを若者等に効果的に訴求するなどの取組を推進していく必要があります。

今後、こうしたポストコロナ社会を見据えた中長期的な取組を着実に進めるとともに、「県民最優先」の基本姿勢の下、「住んでよし、訪れてよしの新潟県」の実現に向けて、全力で取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、貴会議所の益々のご発展と皆様のご健勝をお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ



新潟市長 中原 八一

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

貴会議所におかれましては、日頃より、本市の商工業の振興と市政運営にご支援とご協力をいただいていることに深く感謝申し上げます。

さて、昨年来、新型コロナウイルス感染症の影響は多方面にわたり、依然厳しい状況が続いており、特に経済への影響は甚大なものとなっています。

一方で、昨年夏に急増した新規感染者数は10月に入ると大きく減少し、感染者がゼ

ロという日もございました。この間、数回にわたる営業時間の短縮要請に多くの皆さまからご協力いただいたことにあらためて感謝申し上げます。

しかしながら、第6波の到来も懸念されるなど、収束に向けた見通しはいまだ立っていないのが現状です。

本市といたしましては、国や県の施策と連携を図り、このコロナ禍に対応した新しい事業活動やデジタル技術を活用した取組への支援を継続するとともに、アフターコロナを見据え、地域経済の安定・浮揚に向けて全力で取り組んでまいります。今後とも、貴会議所ならびに会員の皆さまのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆さまのご健勝と貴会議所のますますのご発展を祈念して、新年のあいさつといたします。